

ACTIVE 商品取扱い説明書

ノーマルキャリパー用 キャリパーサポートセット 大径ローター用

この度はACTIVE 製品をお買い上げありがとうございます。取り付け作業前必ず説明書をお読みください。

商品取り扱い注意事項

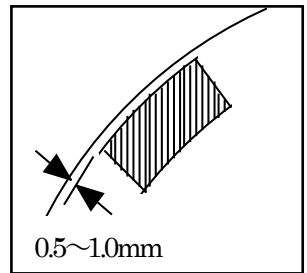
- 作業を行う際には、火傷・けが等をする恐れがありますので、安全な場所にて車体を安定させ、必ずエンジン、マフラー等車柄を冷めている状態で、手袋等を着用の上、十分注意して作業を行ってください。
- 重要安全部品の取扱いは、プロのメカニックにより認証工場等で行ってください。
- 取り付け前必ず車種専用サービスマニュアルを用意して作業を行ってください。
- ボルトの脱落や破損による事故の恐れがありますので、各ボルトはそれぞれの規定トルクで締め付けてください。（車種専用サービスマニュアル）
- 取り付け後、必ずボルト、ナットの締め忘れは無いよう確認してください。
- 取り付け後、各部の干渉等の問題が無事を確認してください。
- 取り付け後、走行距離100 km到達時で一度ボルト、ナット類の緩みが無いか点検し、必要があれば増し締めを行ってください。
- レース専用パーツに関しては、装着後のクレーム、及び故障、事故による当社は一切の保証、責任を負いません。
- 組み立て不良、メンテナンス不良、又は使用状況の誤りなどにより発生した事故、破損、及び取り付け工賃に関しては、当社一切の保証、責任を負いません。
- 返品・交換に関しては、商品不良がある場合に限ります。お買い上げ後一週間以内とさせていただきます。（但し、お客様の方での加工された商品及び、取り付け工賃は、返品交換の保証対象外とさせていただきます。）
- 車輛の点検及び、メンテナンスは定期的に、お客様の責におまかせして行ってください。
- 商品の仕様及び料金を予告無く変更する事がありますが、予めご了承ください。

商品説明

このキャリパーサポートセットはノーマルローターを大径ローターに交換し、そのままノーマルキャリパーを使用するものです。最近のノーマルキャリパーは軽量かつ高性能な物が多くアフターマーケットのものに交換してもあまり効果が上がらないことがあります。この高性能なノーマルキャリパーをそのまま使用し大径ローターに交換する事により効率よくストッピングパワーをUPする事が可能です。取り扱いには下記注意事項を厳守してください。使用するディスクの製造公差、経時変化や車輛個体差等もあり、下記のことを確認し作業を進めてください。（重大な死亡事故につながる恐れがあります。）

注意事項

- ディスクに対するパットの当たり位置は、ディスクの外側より0.5~1.0mmのところはパットの外側がくるのが理想です。（右図参照）ずれている場合は各ボルトを一度緩め、位置を合わせてボルトを再度締めなおしてください。また、ディスクよりパットが外側に出てしまう場合や、ディスクに接触していない部分がある場合は必ずその部分を削り落とす必要があります。
- 同一車種でも車輛により左右でセンターの出方が異なることがあります。センター出し用シムセット等（別売）でキャリパーセンターを出してください。
- フロントホイールを回転させ、ブレーキレバーを握っていない状態でディスクとキャリパーが接触していないかを確認してください。動きの悪い物はセンターが出ている可能性がありますので、センター出しを行ってください。
- ブレーキホースは純正のものがそのまま使えない場合があります。その際は、当社にて専用のブレーキラインキットを用意しておりますので、別途お買い求めください。
- 車種専用取扱い説明書があるものは、必ず熟読し実施してください。内容が異なる場合があります。
- **大径ローター使用時は、ノーマルローターと同じオフセット量のものをご使用ください。**
- ブレーキフルードは塗装面を傷めますので、タンクやカウル等に飛散したときは、すぐに水で洗い流しウエスで拭き取ってください。
- ブレーキフルードは毒性が強いので取り扱いには十分注意してください。万が一目や口に入った場合はすぐに水で洗い流し、医師に相談してください。



付属品

内容	シングルディスク車	ダブルディスク車
サポート	1個	2個
キャップボルトM10 X 25mm (P 1.25)	2本	4本
センター調整用シム (0.5mm)	4枚	8枚

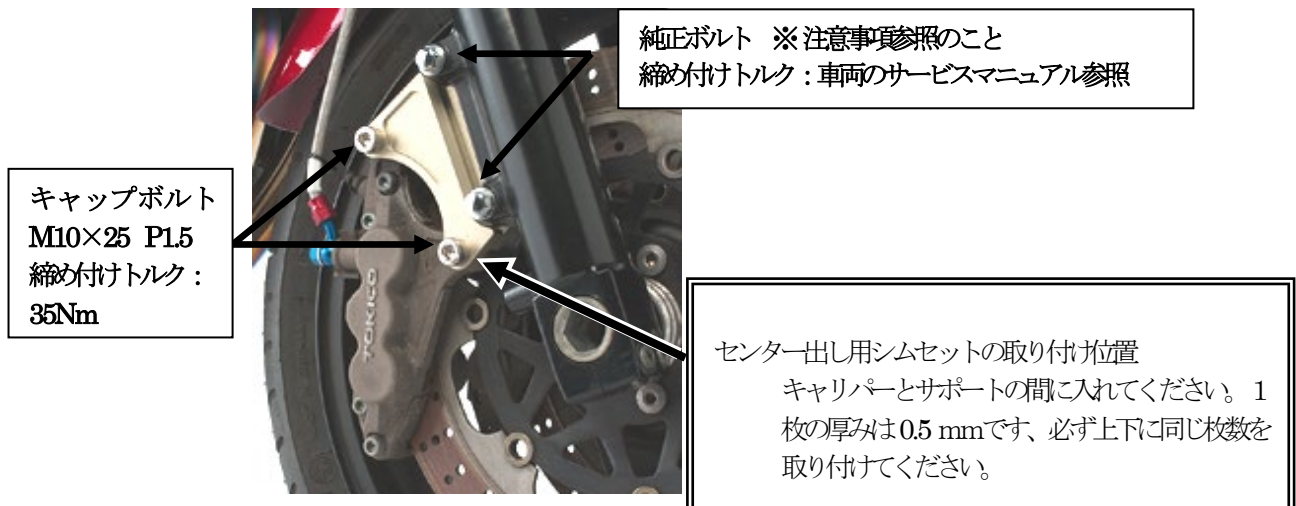
■ 取り付け手順例（ZRX1100の場合）

1. ブレーキホースの取り外し

- ① サービスマニュアルを参照し、フロントマスターシリンダーのオイルタンクキャップの取り付けボルトを外し、キャップとラバーダイヤフラムを取り外します。
- ② エア抜きの際でキャリパーのオイルニップルを緩め、ブレーキレバーを繰り返し握り、ブレーキフルードを完全に抜き取ります。
- ③ マスターシリンダー側のベンジウボルトを取り外します。アンダーブラケットに固定されているブレーキホースクランプステーを取り外します。キャリパー取り付けボルトを外し、キャリパーとブレーキホースを一体で取り外します。

2. サポートの取り付け

- ④ キャリパーサポートを純正キャリパーを固定していたボルトを使用してボトムケースに取り付けます。
- ⑤ ノーマルキャリパーを付属のキャップボルトM10×25（P1.25）を使用しサポートに取り付けます。
- ⑥ ブレーキホースの取り付けを行います。



■ 作業終了後に

作業終了後は注意事項を参照し各部のチェックを行います。

- キャリパーのオフセットの確認（センター出し）
- パットのあたり面の確認（キャリパーの取り付け位置）
- 各ボルトの締め忘れがないかを確認
- ブレーキフルードの漏れ

■ 注意事項

- 片押しキャリパー車の場合（ディスクの裏側にピストンが無いタイプのキャリパー）
ノーマルキャリパー取り付けボルトが短く、サポート取り付け用ボルトの長さが足りない場合があります。その際は、長さの合ったボルトをご用意ください。
※サポートの裏面にボルトがはげない程度の長さ
短いボルトのまま取り付けを行なうとサポートが破損する恐れがあります。



車種によってはマスターシリンダー容量により、握りしろ、タッチがノーマルと異なる場合があります。キャリパーメーカーの推奨マスターシリンダー容量のものと交換し、必ず慣らし運転を行い、ライダー自身が純正キャリパー・マスターとの制動力の違い、握りしろ、タッチ等を確認した上で、ご使用ください。

取り付け後、約100km 走行後は各部を点検し、ボルトの増し締めを行ってください。

その後、約500km 毎に必ず点検を実施してください。ブレーキパットの残量には十分ご注意ください。

210925KIT03

製品に関するご不明な点やご質問がございましたらお気軽に当社までお問い合わせください。



〒470-0117 愛知県田原市藤家7丁目5番地
TEL0561-72-7011 (代) FAX0561-72-7012
<http://www.acv.co.jp> E-mail info@acv.co.jp